

令和7年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和7年5月22日（木）午前9時30分から11時30分まで

2 場所 静岡南部特別支援学校 3階 小会議室

3 出席者

（1）学校運営協議会会員

地域コーディネーター、西豊田地区社会福祉協議会 企画運営委員長、NPO法人ひまわり 副理事長、小鹿こども園 園長、静岡済生会療育センター令和 療育支援課主幹、西豊田小学校PTA副会長、本校PTA会長

※欠席3名

（2）本校職員

校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事・訪問主任、教務主任

4 内容

- ・校長挨拶
- ・自己紹介
- ・学部等の紹介
- ・授業参観
- ・令和7年度学校経営計画について
- ・令和7年度学部等経営計画
- ・授業参観、学校運営に関する意見等

5 議事録

【学校より】

- ・今年度は「守り認め合う」を最優先とし、ウェルビーイングや安全安心な環境づくりに注力していきたい。
- ・特に防災に力を入れていきたい。南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表時の経験を踏まえ、避難後の生活についてもセンターと共同で考え、防災訓練を行っていきたい。
- ・「学び高め合う」では、個々の実態に合わせた授業実践と学びの積み重ねを重視。教職員の授業力向上と業務改善も図っていく。
- ・「繋がり合う」では、地域・保護者との連携による体験活動や表現活動を充実させ、共生社会づくりへの貢献を目指していきたい。

【評議員より】

○授業参観の様子より

- ・子どもたちがそれぞれ自分にできる方法で活動していたことが印象的だった。

- ・ボッチャのボール投げの力強さに驚いた。今までの学習の積み重ねを感じた。
- ・学校の掲示物や雰囲気が明るく温かい印象で良い。
- ・ICTの活用がすごいと感じた。訪問教育の児童と同じ活動をしていることがすごい。先を進んでいる感じがする。
- ・地域交流で児童に名前を覚えてもらい、今日も名前を呼んでもらえて嬉しかった。やはり実際に会って関わりを持つことが大事であると感じた。触れ合ってみて初めてわかることがたくさんあった。

○学校、設備について

- ・児童生徒数が少ない現状で、空いているスペースの活用（地域住民への開放など）ができないか。

○防災について

- ・複数の委員から防災への関心や協力の意向が示された。夜間の災害対応や、人の力の重要性、避難時の課題（トイレ、車椅子移動の困難さ、道の状態）について挙げられた。

○学校より

- ・学校の空きスペースとなるところは、現在は教材等が置いてある。来年度以降は、静岡視覚の移転のため1階が空くが、管理上の問題もあるので検討していく。
- ・訪問教育生徒を含めた防災対策を重視していく。個別の避難計画の作成については、実際に作成するのは保護者なので、寄り添いながら進めていきたい。
- ・昨年度の地域との連携の成果を感じている。今後も共助を深めていきたい。

